

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年10月9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100348		
法人名	株式会社アーバン・ケア		
事業所名	グループホーム はなみずき		
所在地	広島県尾道市向島町立花3010-23 (電話)0848-20-6022		
自己評価作成日	令和4年8月24日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3474100348-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年10月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

島内にある施設で、入居者様や職員の大半は島内の住人なので、中にはお元気にご自宅で暮らされていた頃の入居者様と顔馴染みの職員もおります。そのため地域の昔話なども自然に行えており、ある意味施設内で地域ケアが行えています。そういった「島内」という小さなコミュニティ力を今後も弊施設の特色のひとつとして大切にしたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

平屋を有効利用し、ユニット間を開放し、いつでも利用者・職員が往来し、交流している。感染状況に応じて、面会制限、ガラス越し面会、アクリル板を挟んだ短時間面会と家族の要望に基づき実施している。外出自粛の中で、四季を感じる取り組みとして、ドライブ、リビングから直接出入り出来るウッドデッキを活用し、家庭菜園を楽しんでいる。利用者が好きな食べ物を増やす取り組みとして、手作りの食事・おやつを取り入れることで食の充実を図る取り組みをしている。利用者の個別ケアについて、カンファレンスなどで、話し合いを重ね、支援の充実を図っている。働きやすい職場づくりの取り組みから、日頃から職員同士が話しやすい雰囲気づくりを構築し、情報を共有しながらチームケアをモットーに日々支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型サービスの意義を理解し、それに基づいて理念を職員全員で共有している。短期目標も考えてそこに向けて実践につなげている。	前年度を振り返り、職員全員で話し合った年間目標を掲げ、半年毎に振り返りを行っている。開設時に策定した理念及び理念の共有での1年間目標、取り組む内容、短期目標と具体的な指針に基づき、実践に活かすよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事にも積極的に参加させて頂くようにしている。	以前は、神輿がホーム玄関前に訪問、とんど祭り、盆踊りと交流を深めていたが、新型コロナウイルスの影響で交流が難しくなっている。町内会に加入し、職員のみ町内清掃への参加、地元行事が自粛の中で、事業所の夏祭り、運動会、ハロウィンなど季節毎の行事は継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄付もさせて頂き、地域の方に認知症の理解と開かれた施設作りを目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族の方からの意見を取り入れ、その都度解決できる問題であればその場で討議し、納得して頂いている。	系列事業所との法人合同会議を継続している。開催後は、家族へ議事録を送付し、電話にて意見や要望を聞くようにしている。コロナ対策が課題となっており、家族から『顔を見たい、声が聞きたい』などの要望からガラス越し面会時に玄関のインターホンを活用した経緯がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協働関係を築くように取り組んでいる。	運営上の疑問があれば市町や包括支援センターの担当者に報告や相談を持ち掛けている。	市との連携は、副所長が主に担っている。そこでの得た情報や報告事項があれば、事業所へ周知している。特にコロナ禍の取り組みについて、市から問い合わせを受けることがある。地域包括支援センター主催の会議に参加し、地域連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠に関しては、建物の構造上リビングから段差やスロープ等、危険な場所を確認しずらいため、やむなくオートロックをかけているが、入居者様が望まれば職員が同行して外出をしている。	年1回職場内研修を実施している。身体拘束防止委員会を年4回開催し、定期的なケアの見直しをしている。年2回事業所独自の自己評価シートを活用し、カンファレンスで話し合いをしている。スピーチロックを含め命令口調にならないように言葉遣いを気を付けている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日々の対応の中で身体の異常の有無の確認や虐待防止の施設内研修なども実施・再確認しながらケアにあたっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされる入居者様においては、以前利用されていたこともあるので、必要に応じて支援させて頂けるように情報交換は行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事前に内容を説明させて頂き、不明な点は問い合わせ頂き十分理解・納得されたうえで本契約させて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	二か月に一回は所長や副所長、三施設の管理者とリモート会議を開きコロナ対応などを話あっている。その結果報告をご家族様に送らせて頂いている。	介護計画更新時や面会、電話などで意見・要望を把握し、迅速な対応に努めている。毎月、本人の写真を添えた便りを家族へ送付し、身近な出来事を知らせている。年1回満足度アンケートを家族へ送付し、出来る限りの要望に対応している。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンスや申し送りの時など意見ができれば早急に対応し、可能な限り取り入れるようにしている。</p>	<p>随時、個別面談で意見を聞く機会を設けている。職員からの意見は、日頃から様々な場面で聞く機会を設けている。合同カンファレンスなどを含め、利用者の支援に関わる話し合いが多く、支援の充実を図った例がある。職員からの要望があれば、出来る限り対応をしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの声掛けが聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善が出来る所はしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スキルアップのため、研修に参加しやすいように研修費、参加費など施設側が負担してくれている。また、施設内研修も取り入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括センター主催の町内の施設合同研修会にも参加して、より一層のサービスの向上につなげたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>できるだけ要望にお応えするように配慮をしている。利用者様との信頼関係が一番なのでスタッフ一同で気配り、心配りに努めている。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接、契約時にご家族様の今までの苦勞話に耳を傾けながら、当施設の対応方法を説明させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面接に伺い、その時の聞き取り調査、本人の状態など面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用があるなど提案をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は皆人生の経験者、先輩なので常にお互い勉強をさせて頂いているという気持ちで接するように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様のご家族が来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ化の為、面会が難しいが夜間、深夜以外はいつでも電話を取り次いでいる。知人や友人の方も同様に行っている。ワイヤレスマイクを使用してガラス越しに面会を行っていた。	家族情報、生活歴、日頃の関りから把握するように努めている。ドライブの際に、それぞれの馴染みの深い地域、自宅付近を通り、車内で会話が弾んでいる。年賀状や電話でのやり取りをし、馴染みの関係継続に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり困っていたら声を掛け合って、皆様共同生活をされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	島内の施設に転居であれば地元のコミュニティでその後のご本人の情報が入っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なかなか思い通りの生活には叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように本人の意思、意向を尊重しながら日々対応に努めている。	利用開始前の情報をもとに日頃の関りや会話のなかで、要望を把握している。例えば、利用者の好きな物など把握し、実現することで、喜びに繋がり表情が良くなったケースもある。意思疎通が難しい方には、言葉や表情から受け止め、職員で話し合いを行い、本人主体で物事を考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中から生活歴を引き出したりご家族にお聞きしながら日々対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族の意向に沿った介護計画が出来るように主治医の指示もおおぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>独自のアセスメントシートを用いてアセスメントをしている。年2回モニタリングを行い、必要な関係者が現状に即した介護計画を作成している。本人の身体状況に合わせ、介護計画の実施やモニタリングを行っている。必要に応じて理学療法士に相談し、助言を受けている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の小さな変化を細かく個別記録に記入をすることにより職員間で情報の共有をしてケアや介護計画に生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>出来るだけ入居者様、ご家族様の意向に沿うように心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源を把握することで出向ける事には参加をしようとは思いますが人が限られているので、ボランティアなどで生活に張りが出ています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本来は提携医があるので変わって頂くのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な場合はそのままかかりつけ医として往診を支援している。</p>	<p>利用開始時に相談し、以前のかかりつけ医を決めることができるが、月2回往診や緊急時の事もあり、殆どがホームの協力医を選択している。歯科、皮膚科、眼科と往診があり、適切な医療が受けられる体制を整えている。家族の要望から口腔ケアの歯科衛生士の往診対応を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時は利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、病院との連絡を取るように心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により終末期に向かう段階でご家族様と話をさせて頂き、ある程度の方針を決めて看取りまでの過程を説明をしている。	利用開始時に『看取りに関する指針』を説明している。看取りの経験もあり、重度化した場合、その都度、家族や医療関係者とカンファレンスを行い方針を決めている。マニュアルの作成や家族と一緒に振り返りを行っている。希望があれば家族もホームで寝泊りが可能としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練、救命訓練指導は実施している。地域との協力のもとには実践が伴っていない。	年2回の内、1回は消防署職員立ち会いのもと、避難訓練を実施している。災害時は、地域の避難場所としての防災拠点とした役割を担っている。減災対策の取り組みとして、3日分の備蓄を確保、火元を出さない工夫として、週1回コンセント点検を実施している。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スタッフも十分配慮している。居室の訪問時には、中に居なくてもノックをして入室し、利用者様にも声掛けをして入室をするようにしている。	相手が不快にならないように、親しみやすい言葉掛けとし、個々の利用者に合わせて言葉掛けをしている。個人ファイルなど記録物に関しても他者の目に触れないように鍵が掛かる書類棚に整理している。毎月カンファレンスで気になる事があれば話し合いを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定できる方に関しては対応が出来る範囲でお応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて一人ひとりの思いを大切にしている。日々の日課として体操、レクリエーション活動も声掛けをするが強要をしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時に、鏡の前で自分の顔をしっかりと見てもらい整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚、視覚は大事にしたいので季節の旬の物は提供したいと考えている。食事は一緒にとり、メニューや味付けの話題などで盛り上がりませす。片付けや食器拭きなどを手伝ってもらっている。	季節の食材を取り入れた3食手作りの食事を提供している。畑で収穫した野菜が食卓に上がることもある。週2回パン食や夜間に小腹がすいた時は、おにぎりなど提供している。おやつ作りも力を入れ、『おはぎ、地元の和菓子、ふなやき』など職員は工夫をしながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量、形態、時間など一人ひとりの状態に応じて支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け、介助させて頂いている。ご家族の希望に合わせて月二回、歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し、定期的な声掛け誘導を実施している。</p>	<p>『最後までトイレで排泄して欲しい』方針により、トイレに座ることを基本にしたケアに取り組んでいる。個々の排泄パターンを把握し、定期的な声掛け、誘導にて排泄支援をしている。トイレには可動式手すり、男性用小便器の設置など環境整備をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防に毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時には、時間などに関係なくその都度入浴、シャワー浴の支援をおこなっている。また、通院、外出予定日の前日には入浴の対応をしている。</p>	<p>週2回午後の時間帯で入浴をしている。通院や外出前日には入浴の対応をしている。利用者の体調を考慮し、シャワー浴や足浴で対応している。浴室から立つと窓越しから園庭が見える環境である。柚子湯、入浴剤を使用、時にアヒルのおもちゃを湯船に浮かべたり楽しんでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>その日の体調に合わせて、昼食後に午睡される方とされない方がいる。夕食後には一人ひとりの時間に合わせ入室消灯されている。消灯時間も決まっていない。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬が変更された時は、連絡ノートや申し送りなどを行う。服薬は飲み込まれるまで見届け確認をする。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>その人の残存機能を活かせる役割を見つめたり、趣味や楽しみが持続出来るように支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気候の良い日には、出来るだけ散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族の面会時には協力して頂き一緒に外出をされる方もいる。</p>	<p>コロナ禍で外出自粛だが、ホーム目の前は遊歩道があり、無理のない範囲で気候が良ければ散歩をしている。特に外出日は設けず、利用者の状況、職員の状況により、柔軟にドライブ、季節ごとの外出支援をしている。ウッドデッキでの食事や菜園を楽しむこともある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご本人がお金の管理をされている方には、買い物の同行支援をしている。自分で管理されない方には金額を決めて買い物を頂くこともある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>個人で携帯電話を所持されている方もおられますが、ほとんどの方が施設の電話での取次ぎや貸し出しの対応をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしている。冬場は、暖房の乾燥予防のため、加湿器を使用している。空気洗浄機は一年中使用。</p>	<p>法人内で2番目に出来た経験を活かし、平屋建てでユニット間の往来が出来る。衛生面にも気配りし、換気や室温調整を行い、利用者の健康管理に努めている。リビングから直接出入り出来るウッドデッキがある。座位が取れやすい様に身体状況に応じた椅子を選定している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個室なのでいつも気兼ねせずに自分の部屋でゆっくり静養ができる。またリビングのソファで利用者様同士でお話をされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきて頂き落ち着いて過ごして頂けるようにしている。(湯呑、茶碗の他写真、仏壇、寝具など)</p>	<p>居心地よく生活して頂くために、本人、家族と持参物を相談し、使い慣れた物、仏壇や家族の写真、食器などを持ち込み、居心地よく過ごせる様にしている。本人の状況に応じて、ベッドから畳スペースに変更することが出来る。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりに何が出来るかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせて頂いている。</p>		

V アウトカム項目(海) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型サービスの意義を理解し、それに基づいて理念を職員全員で共有している。短期目標も考えてそこに向けて実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事にも積極的に参加させて頂くようにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄付もさせて頂き、地域の方に認知症の理解と開かれた施設作りを目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族の方からの意見を取り入れ、その都度解決できる問題であればその場で討議し、納得して頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営上の疑問があれば市町や包括支援センターの担当者に報告や相談を持ち掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠に関しては、建物の構造上リビングから段差やスロープ等、危険な場所を確認しずらいため、やむなくオートロックをかけているが、入居者様が望まれば職員が同行して外出をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日々の対応の中で身体の異常の有無の確認や虐待防止の施設内研修なども実施・再確認しながらケアにあたっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされる入居者様においては、以前利用されていたこともあるので、必要に応じて支援させて頂けるように情報交換は行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事前に内容を説明させて頂き、不明な点は問い合わせさせて頂き十分理解・納得されたうえで本契約させて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	二か月に一回は所長や副所長、三施設の管理者とリモート会議を開きコロナ対応などを話あっている。その結果報告をご家族様に送らせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンスや申し送りの時など意見ができれば早急に対応し、可能な限り取り入れるようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの声掛けが聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善が出来る所はしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スキルアップのため、研修に参加しやすいように研修費、参加費など施設側が負担してくれている。また、施設内研修も取り入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括センター主催の町内の施設合同研修会にも参加して、より一層のサービスの向上につなげたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>できるだけ要望にお応えするように配慮をしている。利用者様との信頼関係が一番なのでスタッフ一同で気配り、心配りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接、契約時にご家族様のこれまでの苦勞話に耳を傾けながら、当施設の対応方法を説明させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面接に伺い、その時の聞き取り調査、本人の状態など面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用があるなど提案をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は皆人生の経験者、先輩なので常にお互い勉強をさせて頂いているという気持ちで接するように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様のご家族が来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ化の為、面会が難しいが夜間、深夜以外はいつでも電話を取り次いでいる。知人や友人の方も同様に行っている。ワイヤレスマイクを使用してガラス越しに面会を行っていた。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり困っていたら声を掛け合って、皆様共同生活をされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	島内の施設に転居であれば地元のコミュニティでその後のご本人の情報が入っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なかなか思い通りの生活には叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように本人の意思、意向を尊重しながら日々対応に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中から生活歴を引き出ししたりご家族にお聞きしながら日々対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族の意向に沿った介護計画が出来るように主治医の指示もおおぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の小さな変化を細かく個別記録に記入をすることにより職員間で情報の共有をしてケアや介護計画に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来るだけ入居者様、ご家族様の意向に沿うように心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源を把握することで出向ける事には参加をしようとは思いますが人が限られているので、ボランティアなどで生活に張りが出ています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本来は提携医があるので変わって頂くのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な場合はそのままかかりつけ医として往診を支援している。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時は利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、病院との連絡を取るよう心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により終末期に向かう段階でご家族様と話をさせて頂き、ある程度の方針を決めて看取りまでの過程を説明をしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練、救命訓練指導は実施している。地域との協力のもとには実践が伴っていない。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スタッフも十分配慮している。居室の訪問時には、中に居なくてもノックをして入室し、利用者様にも声掛けをして入室をするようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己主張できる方に関しては対応が出来る範囲でお応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて一人ひとりの思いを大切にしている。日々の日課として体操、レクリエーション活動も声掛けをするが強要をしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時に、鏡の前で自分の顔をしっかりと見てもらい整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚、視覚は大事にしたいので季節の旬の物は提供したいと考えている。食事は一緒にとり、メニューや味付けの話題などで盛り上がりませす。片付けや食器拭きなどを手伝ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量、形態、時間など一人ひとりの状態に応じて支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け、介助させて頂いている。ご家族の希望に合わせて月二回、歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し、定期的な声掛け誘導を実施している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防に毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時には、時間などに関係なくその都度入浴、シャワー浴の支援をおこなっている。また、通院、外出予定日の前日には入浴の対応をしている。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の体調に合わせて、昼食後に午睡される方とされない方がいる。夕食後には一人ひとりの時間に合わせ入室消灯されている。消灯時間も決まっていない。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬が変更された時は、連絡ノートや申し送りなどを行う。服薬は飲み込まれるまで見届け確認をする。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人の残存機能を活かせる役割を見つけたり、趣味や楽しみが持続出来るように支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候の良い日には、出来るだけ散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族の面会時には協力して頂き一緒に外出をされる方もいる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人がお金の管理をされている方には、買い物の同行支援をしている。自分で管理されない方には金額を決めて買い物をして頂くこともある。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	個人で携帯電話を所持されている方もおられますが、ほとんどの方が施設の電話での取次ぎや貸し出しの対応をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしている。冬場は、暖房の乾燥予防のため、加湿器を使用している。空気洗浄機は一年中使用。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室なのでいつも気兼ねせずに自分の部屋でゆっくり静養ができる。またリビングのソファで利用者様同士でお話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきて頂き落ち着いて過ごして頂けるようにしている。(湯呑、茶碗の他写真、仏壇、寝具など)		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりに何ができるかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせて頂いている。		

V アウトカム項目(空) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日 令和4年11月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ化の為、地域活動や交流も減ってきた。	間接的なやり取りにはなるが地域活動や交流をする。	地域の学校との交流を深めるためにちぎり絵と雑巾などプレゼントをする。	1年
2	23	地域密着型なのに交流や貢献ができていない。	地域貢献をする。	散歩など外出などを利用してゴミ拾いをする。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。